

# 福島ロータリークラブ会報 vol. 37

2026.6.11 Thu



よいことのために  
手を取りあおう

【例会場】福島市野田町1丁目10-41 エルティ  
【例会日】木曜日 12:30  
【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店9F  
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011  
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

■ <https://www.f-rotary.com/>



[ホームページ]



[Facebook]

## 会長あいさつ



2025-26年度会長 佐藤美奈子

皆様こんにちは。先週金曜日、福島RCから29名、そして転勤で福島を離れられた当クラブのOB・OGの皆様15名にご参加いただき、東京交歓会を盛会に開催いたしました。当日は、NTT東日本(株)福島

支社長の大橋会員のご案内で、NTT e-City ラボを見学させていただきました。NTTというと通信事業のイメージが強いですが、今は、農業や漁業、ドローンの活用、絵画のデジタル化、不登校の子どもたちのための学校運営など、幅広い分野に取り組まれており、大変驚かされました。どのセクションも興味深く、参加された皆様も熱心に見学され、とても有意義な企業訪問になりました。夜は、松原会員と大橋会員のお力添えにより、東京オペラシティの宴会場を無料でお借りすることができ、お料理も特別にグレードアップしていただきました。心より感謝申し上げます。

東京交歓会は48回目を迎えました。もともとは富士銀行にお勤めだった福島RCの会員が、転勤後も東京で定期的に集まられていたことが始まりだそうです。そこへ福島RCの会員やOB・OGの皆様が加わり、今日まで続いてきたそうです。福島RCに所属していたというご縁だけで、年に一度こうして集い、親睦を深めることができるのは、ロータリーならではの素晴らしいことではないでしょうか。OB・OGの皆様も世代交代が進んでおりましたが、皆様口をそろえて「福島が好きです」「時々福島を訪れています」「東京でも福島のお酒を見つけると積極的に選んでいます」そして「福島RCは転勤時代の心の支えだった」とお話しくださり、とても嬉しく思いました。私は今回初めて参加させていただきましたので、初めてお会いする方もたくさんいらっしゃいましたが、「ロータリアン」という共通点があるだけで、すぐに打ち解けてお話をすることができました。改めて、ロータリーの大切な目的の一つである「親睦」が、人と人との絆をつなぐ大きな力なのだと感じました。今週は世界大会に参加し、台湾では文湖ロータリークラブの皆様とも再会できる予定で、今からとても楽しみにしております。これもまた、ロータリーがつかないでくれた友情の証だと思っています。

さて、私は主人の仕事の関係もあり、日頃から本当にたくさんの方々とお会いする機会に恵まれています。人生の中で、これほど幅広い年代の方々と、さまざまなお仕事をしている方々と出会い、お話をし、支えていただける職業はなかなかないのではないかと考えています。私はもともと人と接することが大好きです。「ジャガイモが採れたから…梨があるから…サクランボがあるから取りにおいで」「わらびが取れたから持って来た」と声をかけていただき、長靴を持参して収穫のお手伝いをしながら、農業のこと、地域のこと、人生のことなど、何気ない会話をしますが、いつも多くの学びがあります。今年度はロータリーの活動が忙しく、こうした時間が取れなくて、なんだか忙しいね…といわれるのが少し残念でした。普段ですと、季節によって、一日3、4軒のお宅を訪問することもあります。皆さん、娘のようにかわいがってくださる方も大勢いて、一緒に食卓を囲むことも多々あり、温かく迎えてくださり感謝しています。

## 本日のプログラム

### 各委員会 年間活動報告

- SAA 古俣 猛 会員
- 戦略委員会 菅沼 裕 委員長
- 公共イメージ委員会 五阿弥宏安 委員長
- 職業奉仕小委員会 鈴木恭一 小委員長
- ロータリー財団委員会 善方邦彦 委員長

相良元章 県北第一分区ガバナー補佐  
年間活動報告

## 例会次第

### ロータリー・ソング「我らの生業」

ソングリーダー 村山由美子 会員



村山由美子 会員

### ロータリー米山記念奨学会 伝達

第2回米山功労者 長谷部一雄 会員



長谷部一雄 会員

### 各委員会報告

例会小委員会 ニコニコBOX担当

本田裕一 委員



本田裕一 委員

公共イメージ委員会「友」6月号紹介

森下謙太郎 委員



森下謙太郎 委員

その一方で、「この前スーパーで見かけたけれど、気づかなかったね。」「最近来ないね」と言われることもありますので、お辞儀をされたり、どこかでお会いしたことがあるような気がしたら、とりあえず笑顔で挨拶するようにしています。たまに、「私の名前、覚えている？」と聞かれて困ってしまうこともあります。そんな時は何とか笑いに変えながら乗り切っています。最近は少なくなりましたが、少し前までは朝7時半頃に「お茶飲みに来たよ」と突然いらっしゃる方もいて、慌ててお化粧をして玄関へ向かうこともよくありました。「大変な職業ですね」と言われることも多々ありますが、私はむしろ、そのような日々をありがたく感じています。人生は一度きりです。人との出会いは、私にとって学びの場であり、人生を豊かにしてくれる大切な宝物です。

ある番組で「継承は、押し付けられるものではなく、選べるもので、僕は、望んで夢を受け取って自分のものにしたんだよ」という言葉を耳にしました。私も主人も与えられた縁やチャンスを大切にしながら、自分自身で選択し、継承しており、決して誰かに言われて継承しているわけではありません。ここにいらっしゃる皆様の中にも、事業を継承されている方が多くいらっしゃると思います。きっと同じようなお気持ちで日々歩んでおられるのではないのでしょうか。これからも、目の前に訪れるご縁やチャンスを大切にしながら、多くの方との出会いを楽しみ、人生を豊かにしていきたいと思っております。

## 各委員会 年間活動報告



古俣 猛 会員

### ■ SAA

例会をはじめ会議・協議会等、1年間を通して秩序正しく運営されたと思います。

またゲスト・ビジターなど来訪者の歓迎と案内、ならびに同席しながらのおもてなしをいたしました。例会等の時間管理については、開会は定刻通り開催できますが、閉会時間については、発表者によっては超過もしくは未満というケースがあり、特に終了合図を躊躇してしまう場合があります、今後も課題として検討が必要であります。

月一度の委員会ごとの席次については大変好評で委員会内の結束、交流が深まったと思います。

またロータリーバッジ着用については、100%には達しておらず、SAAとしての着用推進の不足であり大きな反省点でもありました。

最後に菅野裕一副SAA・佐藤永之副SAA、村山由美子副SAAにおかれましては、いつもきめ細かな例会運営など、尽力いただき大変お世話になりありがとうございました。



菅沼 裕 委員長

### ■ 戦略委員会

戦略委員会より活動報告をさせていただきます。

戦略委員会ではロータリーの目標達成のための3ヵ年計画の立案協力とクラブ活性化・外部環境の変化を捉え理事会への提言を行うことを方針に掲げ1年間活動しました。

特に今年度は、標準ロータリー定款変更による細則の変更があり修正点を拾い出し、修正案を作成し理事会へ起案しました。

今回、この細則変更にあたり、福島ロータリークラブ細則をすべて読み直しましたが、当クラブ細則は日本中・世界中どこに出しても恥ずかしくない素晴らしい細則であると改めて思いました。

福島ロータリークラブ創立75周年事業では佐藤美奈子

会長のもと、全会員が1つになって2025-26年度RI会長のメッセージ「良いことのために手を取り合おう」を会員一同が手を取り合いながら実践できた年であったと思います。

75周年の素晴らしい年度に戦略委員長という貴重な経験をさせていただきましたこと、委員会の皆様にお支えいただきましたことを深く感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



五阿弥 宏安 委員長

### ■ 公共イメージ委員会

ロータリーが行っているさまざまな奉仕活動などを多くの人に知ってもらい、ロータリーの評価や社会的影響力を高めることが公共イメージ委員会の役割です。今年度は、情報発信の強化などの目的で毎年開催しているマスコミ懇談会を昨年11月に開きました。県内の地元紙2紙、民放局4局、NHK、ラジオ福島の報道責任者や支局長などに参加いただき、ロータリー活動への率直な感想や意見のほかPRの仕方やどうやれば紙面や番組に取り上げてもらえるかなど多岐にわたって話し合いました。お陰様でスポGOMI大会は昨年以上に大きく報道され、県内だけでなく他県のロータリーからも問い合わせがあるなど大きな反響がありました。スポGOMIに併せて会員の皆様から読み終えた本を寄贈していただきバザーも開き、余った本は刑務所に寄贈されましたが、これも新聞



で報道されロータリーの評価を高めることができました。

ロータリーの友の紹介も毎月行ってきました。ロータリアンであれば知っておきたい知識や話題が数多く掲載されていますが、実際には会員全員が読んでくれるわけではありません。会員が興味を持って読んでくれるよう担当委員が工夫しながら友の紹介をしたつもりです。少しでも興味を持っていただけたなら幸いです。



鈴木 恭一  
小委員長

#### ■職業奉仕小委員会

2025-26年度に行った活動のうち、本日は4つの活動についてご報告いたします。

##### 1. ワークウェア例会

相良会員の提案を受けて開催しました。「ロータリーの友」にも取り上げられ、福島ロータリークラブの活動を、国内に広く知っていただく機会になりました。

試行錯誤しながらの開催であり、良し悪しの判断はさまざまと思いますが、新しいことにトライすることはロータリアンとして意義あることと思いました。

##### 2. 職業奉仕に関するベテラン会員からのスピーチ

職業奉仕月間である1月に、阿久津肇PGによる講話を開催しました。「ハーバート・テラーと彼が唱えた四つのテスト」に関するもので、大きな学びを得ることができました。こうした講話を拝聴できる点でも、我がクラブは恵まれているなど感謝するばかりです。

##### 3. 四つのテストの唱和

毎月最初の例会で、職業奉仕小委員会員が交代で主導者となり、全員で唱和しました。八巻前小委員長が始めた唱和前のスピーチを今年度も継続しました。個人的には、職業奉仕について考える良い取り組みであったと思いますが、その一方で、お願いした会員にはご負担をおかけしたかも知れません。

##### 4. 職場訪問例会の開催

###### ①NHK 福島放送局の職場訪問例会

塩塚局長のご高配により、8月21日に開催しました。NHKの最新情報を聴講し、スタジオを見学し、放送がどのように作られているのかを学ばせていただきました。

###### ②JRA 福島競馬場の職場訪問例会

高橋淳一場長のご高配により、5月21日に開催しました。バックヤード見学ということで、普段見ることができない競馬場の姿を見せていただき、参加者の満足度も高かったようです。

私自身、初めての職業奉仕小委員長でしたが、経験豊かな副小委員長はじめ委員の皆様のおかげでいただいたお陰



で、1年間の活動を終えることができました。皆さまに感謝申し上げます。



善方 邦彦  
委員長

#### ■ロータリー財団委員会

ロータリー財団の役割は「集める（寄付）」と「使う（補助金）」が大きな柱です。寄付については、会員各位のご理解のもと、泉田ガバナーの示された下記の地区目標を達成することができました。

- ・年次基金 \$150 / 1人
- ・ポリオプラス基金 \$30 / 1人
- ・ベネファクター クラブから1名 ➡ 2名達成
- ・PHS、PPSへの加入促進  
(PPS今年度新規加入5名、累計20名)

これらの目標達成のために、例会場にて寄付を受け付け、PHS、PPSへの加入を呼びかけました。ご寄付いただきましたみなさまに感謝いたします。

補助金については、クラブ創立75周年記念事業として実施された、第5回スポGOMI大会とベビースタイ寄贈事業に地区補助金を活用させていただきました。

また、出席が義務付けられている財団関連セミナーへ出席し、地区補助金に関する報告と申請（次年度分）も佐藤幹事、藤井次年度幹事のご協力によって滞りなく済ませることができました。さらに例会の貴重な時間を頂戴して11月の財団月間に「ロータリー財団について」、4月には「PPS認証について」のスピーチを行いました。財団の仕組みや諸活動に対する理解と寄付増進につながれば幸いです。

ロータリー財団は連綿と続く大河です。一人ひとりの一滴がやがて確かな流れを生み、世界中のロータリアンの芳志が集まって大河となります。この大河を涸らすことなく、次年度以降も財団を通じて世界により良き変化をもたらすことができますよう、引き続きみなさまのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、委員のみなさまには例会での寄付受付をはじめ、委員会の活動にご尽力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。





例会ルネサンスの取り組み  
合同夜間例会  
福島RC  
福島中央RC




福島中央RC + 福島RC 合同例会開催

## 2025-26年度 ガバナー補佐 を振り返って

国際ロータリー第2530地区  
県北第一分区  
2025-26年度ガバナー補佐  
相良 元章 (福島RC)




例会ルネサンスの取り組み  
ワークウェア例会  
福島RC




新年 1月

掲載されました

年度はじめに  
分区の課題を共有  
例会ルネサンスを  
提唱しました




生成AIの答え

・会員の減少 (1996年13万人→2024年8.3万人)  
・女性会員の比率が低い  
(2025年世界平均27%) **会員の課題**  
・高齢化・閉鎖的なイメージ  
(若年層入会のハードル)  
・活動の形骸化・運営の高コスト化

そこで  
例会ルネサンスの提案  
です

・ルネサンス=再生  
・例会の目的・機能を見直し、活性化する運動です  
・「楽しかった・嬉しかった・勉強になった」「また来週も例会に行きたい」を目指しましょう

**目的：会員一人ひとりに  
“クラブ愛”を再燃させる**



第1回例会と  
ガバナー公式訪問  
福島RC




福島RC 第1回例会後



2025年7月24日 福島RC

例会ルネサンスの取り組み  
100%出席例会  
福島西RC




ガバナー公式訪問  
福島西RC  
二本松RC




2025年7月28日 福島西RC



2025年7月30日 二本松RC

例会ルネサンスの取り組み  
RLI体験例会  
二本松RC




ガバナー公式訪問  
二本松あだたらRC  
福島21RC




2025年7月31日 二本松あだたらRC



2025年7月31日 福島21RC

ガバナー公式訪問  
福島南RC  
福島中央RC  
Rotary



ガバナー歓迎  
晩餐会  
ハワイアンダンス  
をみんなで  
踊りました  
Rotary



ルネサンスDay  
IM  
次世代リーダーS  
クラブ交流会  
2026年2月28日  
Rotary



クラブの行事に  
たくさん呼んで  
いただきました  
Rotary



楽しすぎる  
会長・幹事会  
Rotary



地区大会  
2025年10月26日  
Rotary



県北第一分區 5月18日現在の会員数

分區	クラブ	7月集計 会員数	前月集計 会員数	増減 人数	増減 率	7月集計 会員数	前月集計 会員数	増減 率	前月集計 会員数	増減 率	前月集計 会員数	増減 率	前月集計 会員数	増減 率
県北第一分區	福島	95 (8)	95 (8)	0 (0)	0 (0)	95 (8)	▲1 (0)	4	95 (8)	▲1 (0)	4	95 (8)	▲1 (0)	4
	二本松	34 (4)	33 (4)	0 (0)	0 (0)	33 (4)	▲1 (0)	4	34 (4)	▲1 (0)	4	34 (4)	▲1 (0)	4
分區	福島南	74 (13)	75 (13)	-1 (0)	-1 (0)	75 (13)	▲1 (0)	4	74 (13)	▲1 (0)	4	74 (13)	▲1 (0)	4
	福島西	21 (2)	22 (1)	-1 (0)	-1 (0)	22 (1)	▲1 (1)	3	21 (2)	▲1 (1)	3	21 (2)	▲1 (1)	3
分區	福島中央	41 (3)	43 (3)	-2 (0)	-2 (0)	43 (3)	▲2 (0)	4	41 (3)	▲2 (0)	4	41 (3)	▲2 (0)	4
	二本松あだたら	37 (4)	42 (3)	-5 (0)	-5 (0)	42 (3)	▲5 (1)	4	37 (4)	▲5 (1)	4	37 (4)	▲5 (1)	4
分區	福島21	42 (7)	45 (8)	-3 (0)	-3 (0)	45 (8)	▲3 (1)	4	42 (7)	▲3 (1)	4	42 (7)	▲3 (1)	4
	計	348 (41)	356 (40)	-8 (0)	-8 (0)	356 (40)	▲8 (1)	21	348 (41)	▲8 (1)	21	348 (41)	▲8 (1)	21

設立が古いクラブはやや苦戦しているものの、比較的若いクラブは順調に会員数を伸ばしている。

2回目の  
ガバナー補佐  
スピーチ  
Rotary

Rotary District 2530

AG相良版

インパクトある

【前回のAG誌の要約】

会員満足度を高める最も大切なのは

クラブでの体験です

国際ロータリーの調査より

1. 【「クラブでの楽しさ」】を高め、満足度を高めるには、体験を重視することが重要です。

2. クラブリーダーへの期待: クラブの運営は自分自身で、クラブリーダーが自ら責任を持って運営することです。リーダーは、メンバーの成長をサポートし、クラブの目標を達成させる役割を果たしています。

3. 個人別な成長の機会: 個人別な成長の機会を提供し、メンバーがクラブとロータリーに貢献できるようにします。

4. つながり: ロータリーを通じて、メンバーが互いに支え合い、成長を遂げることを目指します。

5. 【「社会貢献活動」】: クラブの社会貢献活動を通じて、社会に貢献し、メンバーの成長をサポートします。





**特集 ロータリー親睦活動月間**  
**“好き”でつながる!! ロータリーをもっと楽しむ**  
**親睦活動グループのススメ 横書きP5～15**

こちらは、共通の趣味や関心でつながる公式の親睦グループの紹介記事です。  
 親睦グループは、120以上あるそうです。これらのグループでは、自分の知識やスキルを高めつつ、奉仕の理想で結ばれた世界の仲間と親睦を深めています。  
 記事の中では、ロータリアン国際スキーフェローシップによる、白馬村大会が紹介されています。この大会は、国内では2回目の開催となる「ski week」すなわちスキー大会です。  
 日本会の吉田会長は、開催にあたって参加者や関係者にフェローシップやski weekの趣旨を説明しているそうです。これは、フェローシップが、ただスキーを楽しむ団体ではなく、世界的組織であるロータリーを体感してもらうためです。これにより、当事者意識を持ってもらい、積極的に交流を深めてもらっています。  
 プログラムでは、白馬のゲレンデでスキーを楽しむのももちろんのこと、松本まで足を伸ばして、甲冑の着付け体験をしています。また、チャリティーオークションを行って、その売り上げを障害者スキーの支援に寄付したりもしています。  
 まさに、このフェローシップでは、スキーを楽しむだけでなく、「親睦」と「奉仕」が実践されていました。



**SPEECH**  
**食べる人だけでなく、作る人も笑顔にしたい**  
**有楽製菓 取締役会長 河合伴治 縦書きP2～P6**

有楽製菓の看板商品はブラックサンダーで、「有楽製菓にかかわる、あらゆる人々を笑顔にする」をビジョンとしている会社です。  
 河合さんは、商工会議所での講話をきっかけに、カカオ豆の生産現場に児童労働の問題があることを知りました。ビジョンの「あらゆる人々」として、食べている人の笑顔しか、考えていなかったと気づかされたと言っています。  
 その後、児童労働のないチョコレート生地を仕入れようとしても、日本のメーカーの反応が芳しくなく、新たにスイスのメーカーからチョコレート生地を仕入れるようになります。その際には、「どうして、そのようなことをするのか？」と随分と聞かれたようですが、「みんなを笑顔にしよう」と活動をつづけたそうです。  
 児童労働のない原料は、調達が難しく、コストは上昇します。コストやタイパが重視される世の中で、活動を続けるのは苦勞します。ただ、大切だ、正しいと確信できるものがあるなら、世界に流されるのではなく、きちんとやらなくてはならないと河合さんは語っています。  
 ブラックサンダーのパッケージには、QRコードがあって、そこから当社の取り組みがわかるようになっていますので、興味があれば、ぜひご覧ください。

**ロータリー米山記念奨学会 伝達**



■第2回米山功労者  
**長谷部一雄 会員**

**幹事報告**

- 6/14(日)台湾にてロータリー世界大会が開催されます。当クラブより佐藤美奈子会長、加納武志国際奉仕小委員長、相良元章県北第一分区ガバナー補佐、菅野裕一会員、佐藤充孝会員が出席いたします。
- 6/17(水)18時より「ふりこ亭」にて親睦小委員会を開催いたします。委員の皆様、よろしくお願ひいたします。
- 6月ロータリーレートは1ドル159円となりますのでお知らせいたします。



佐藤充孝 幹事

**ニコニコBOX報告** 本日の投入額 39件 報告 本田裕一 委員

- メッセージ会員  
**大橋 真孝 会員**  
 東京交換会にて当社e-cityラボへご来場いただきありがとうございました。
- 加藤 義朋 会員  
 竹田総合病院泌尿器科外来のスタッフが小生90才の誕生日を6月9日にバースディケーキ縦横45cm、高さ10cmのものや記念品などパーティーをやってくれました。感謝!!
- 後藤 忠久 会員  
 相良会員、1年間ガバナー補佐の活動ご苦勞様でした。
- 廣山 祐治 会員  
 還暦祝い、誕生日祝いとありがとうございました。
- 芳見 弘一 会員  
 若隆パレードに感動。山車まつりにもぎわいました。

- 佐藤 美奈子 会長  
 相良元章県北第一分区ガバナー補佐のお話楽しみにしています。
  - 佐藤 充孝 幹事  
 今回を含めて今年度あと3回よろしくお願ひします!!
- 他に**  
 安部 守/井田裕子/岩見孝之/氏家有紀/岡田新也/奥 一正/小原 敏/小原孝嗣/五阿弥宏安/小林仁一/古俣 猛/相良元章/佐藤永之/佐藤英典/菅沼 裕 鈴木恭一/鈴木朋恵/善方邦彦/田沼紀美子/中尾 勉/浪木克文/福地重信/本多修一朗/本田裕一/三宅一秀/村山由美子/森下謙太郎/八巻 恵一/横山 淳/吉田大樹/渡邊又夫